

# 平成26年度11月補正予算の概要

平成26年11月19日

## 1 予算規模（一般会計）

補正額 3,365百万円（平成25年11月補正 2,669百万円）

補正後 351,708百万円（対前年度同期 352,950百万円 ▲0.4%）

補正前 348,343百万円

〔 財 源 国庫支出金 860百万円、県債 340百万円  
基金繰入金 1,213百万円、繰越金 948百万円 など 〕

## 2 主な事業

### ○ 文化観光・スポーツ

・新たな旅のスタイル「ジャパンエコトラック」推進事業 ..... 46百万円

新たな旅のスタイル「ジャパンエコトラック」の取組として、本県ルート（境港～皆生～大山）が全国第1号認定を受けたことから、国内外からの誘客並びに観光客の安心・快適な走行環境の確保を図るため、情報発信の強化と案内標示等の整備を行う。（観光戦略課）

・鳥取空港コナン化事業 ..... 50百万円

「鳥取砂丘コナン空港」の愛称化が決定したことから、鳥取空港に対し愛称にふさわしい空港装飾等を行うとともに情報発信を強化し、国内外からの誘客につなげる。（まんが王国官房）

・境港管理組合負担金（境港公共マリナー施設整備） ..... （事業費 110百万円）

境港公共マリナーは平成26年3月にJOCセーリング強化センターに認定されており、今後、セーリング競技の全国大会、世界大会の開催や合宿等を誘致するため、トレーニングスペース、艇測定スペース、大会運営機材保管スペース等、施設設備の充実を図る。（空港港湾課）

・鳥取隠岐航路トライアル事業 ..... （H27 債務負担行為 7百万円）

鳥取－隠岐航路の可能性を探るため、隠岐汽船の「超高速船」をチャーターしてモニターツアーを実施し、参加者等からの聞き取り調査により問題点等を把握し、今後の運航に向けた対応策、取組手法等について検討する。（空港港湾課）

・山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業 ..... 9百万円

世界再認定後の更なる魅力向上等を図るため、①道路標識の設置、②情報発信（ロングトレイル等）、③地元住民・大学生の地域活動（環境保全・教育活動）への助成、④APGNシンポジウムプレイベント（鳥取環境大学主催）の開催費助成を行う。（緑豊かな自然課）

### ○ 医療・介護

・鳥取県地域医療介護総合確保基金造成事業 ..... 1,320百万円

効率的で質の高い医療提供体制の構築と、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むため、国交付金を活用して、鳥取県地域医療介護総合確保基金を造成する。（医療政策課）

- ・鳥取県地域医療介護総合確保基金事業 ..... 1, 027百万円  
今年度策定する「医療介護総合確保法に基づく鳥取県計画」のもと、①病床の機能分化・連携、②在宅医療・介護サービスの充実、③医療従事者等の確保・養成のための事業を実施し、効率的で質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築に取り組む。(医療政策課)

○ 畜産振興

- ・和牛王国復活推進事業（増産体制整備強化） ..... 21百万円  
日本一の種雄牛「百合白清2」号の誕生を契機に、「百合白清2」等の高レベルな遺伝子を活用して、高能力な繁殖雌子牛・肥育素牛の県内保留、和牛受精卵の増産対策、牛肉ブランド化対策、第11回全国和牛能力共進会の優秀成績獲得に向けた出品対策等を実施する。(畜産課)

- ・「百合白清2」による和牛王国復活事業 ..... 19百万円  
畜産試験場において、高能力種雄牛「百合白清2」を核とした鳥取和牛のブランド向上を目指し、凍結精液の増産を行うための機器整備や、より一層の衛生対策及びセキュリティ強化を図るとともに、第11回全国和牛能力共進会の優秀成績獲得に向けた機器の新型機種への更新を行う。(畜産試験場)

○ その他

- ・県庁基幹システム刷新事業 ..... 1百万円（H27～H33債務負担行為 573百万円）  
県庁業務の効率化と運用保守経費の削減等を図るため、運用開始から20年以上経過し、老朽化・陳腐化している県庁基幹システム（財務会計、税務、給与）の再構築を行うこととし、まずは、効果的なシステム連携を可能とする「共通基盤システム」から先行して開発に着手する。(情報政策課)

- ・鳥取県広域防災拠点整備事業 ..... 34百万円  
本県の広域防災拠点（コア拠点：山陰道・羽合パーキングエリア周辺）の整備に向けて、測量及び地質調査等、今後の基本設計に必要な各種調査を実施する。(危機管理政策課)

- ・日本海沖メタンハイドレート調査促進事業 ..... （H27～H32債務負担行為 85百万円）  
国では平成30年度にはメタンハイドレートに関する資源開発研究を本格化するとしており、それを踏まえた専門人材を養成するには、鳥取大学において平成28年4月から専門コースを開設する必要があるため、寄附講座に必要な経費について債務負担行為を設定する。(環境立県推進課)

- ・米子空港増設駐車場管理事業 ..... 47百万円  
空港前駐車場等について、交通誘導員による管理から、自動感知システムを備えたゲートによる管理に変更する。併せて、空港前駐車場から増設駐車場への連絡通路の設置について詳細設計等を行う。(空港港湾課)

- ・県立学校耐震化推進事業費（非構造部材耐震対策） ..... 355百万円  
(H26～H27継続費 887百万円)

県立学校等の屋内運動場等（体育館、柔剣道場等）の非構造部材（吊り天井、照明器具、バスケットゴール等）について、平成27年度中に耐震対策（落下防止対策）を完了する。(教育環境課)